

とちぎの財政

(令和7(2025)年度)

とちぎけんの予算と財政状況を
紹介します♪

未来への種まき
ぎゅーつとちぎ予算



とちまるくん©栃木県

<予算編成の基本的考え方>

I 令和7(2025)年度政策経営基本方針に基づく重点事項の積極的な展開

II 「とちぎ未来創造プラン」及び「とちぎ創生15戦略^{いちご}(第2期)」の総仕上げ



栃木県

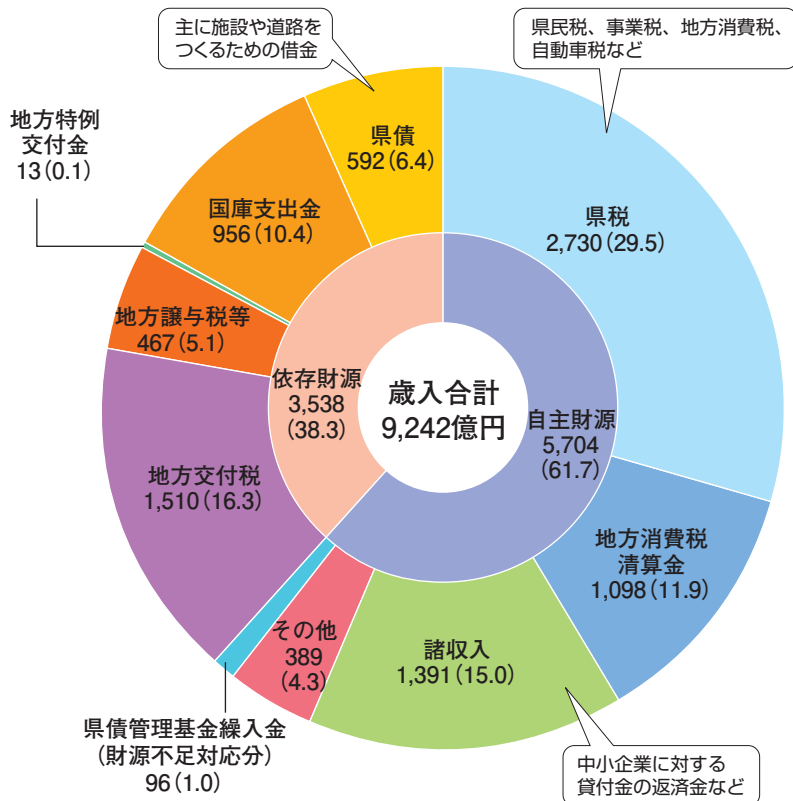
Tochigi Prefecture

1 令和7(2025)年度当初予算の概要等

◎予算規模(一般会計) 9,242億円

歳入

(単位：億円、%)



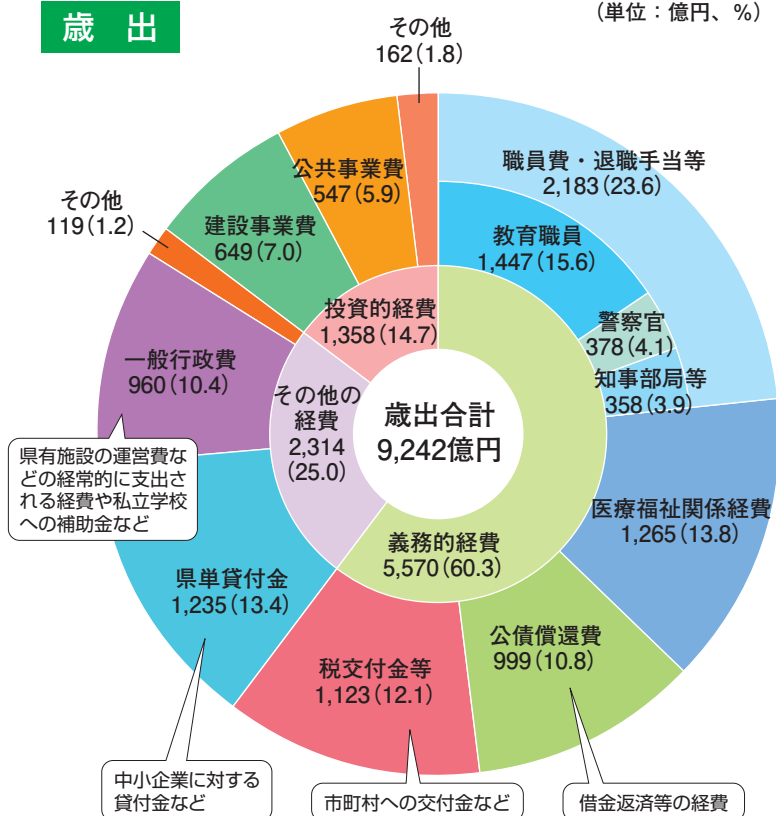
○歳入のうち、約30%が県税です。地方交付税、国庫支出金など国から配分されるものが約32%あります。

○全体の約6%を借金(県債)でまかなっているほか、足りない部分は貯金(県債管理基金)を取り崩しています。



歳出

(単位：億円、%)



○歳出のうち、約24%を職員費等が占めています。このうち、公立小中高等学校の先生や警察官の給与などが約84%を占めています。

○職員費等のほか、医療福祉関係経費や公債償還費など義務的経費が全体の約60%を占めています。

令和7(2025)年度予算の特徴

I 令和7(2025)年度政策経営基本方針に基づく重点事項の積極的な展開

少子化対策と人づくり・女性活躍の推進によるとちぎの未来創生

- 人口減少問題の克服に向けた「栃木県人口未来会議」の設置
- 出会いの機会を創出するための移住と連携した結婚支援(東京圏在住者向けの出張相談会の開催、移住関係イベントへの出展等)
- 妊娠・出産、子育て環境の整備に向けた「喜びのある子育て」推進キャンペーンの展開、プレコンセプションケアの普及啓発
- こどもたちの可能性を引き出すためのICTを活用した新たな学力定着プログラムの導入、特別支援学校における教育環境の充実(地域の小・中学校との交流及び共同学習の充実、岡本特別支援学校新校舎等の整備)
- 女性活躍やジェンダー平等に向けた施策への助言等を行う「女性活躍推進フェロー」の配置、男女間の賃金格差の解消に向けた女性が働きやすい職場環境づくりの促進(働き方改革推進員の養成講座の開催、社外専門家による伴走支援)
- 若者に選ばれるとちぎの実現に向けた「とちぎ若者会議(仮称)」の開催 など

地域経済の好循環創出

- 中小企業等の持続的な質上げへの支援(適切な価格転嫁の促進、産学官金連携による新技術・新製品開発への助成)
- 高品質・高収量・高効率な農業の実現に向けたスマート農業の推進(推進拠点の設置、新たな品種・技術の研究開発)
- 新たな外国人雇用制度に対応するための相談を受け付けるコンシェルジュの配置
- 2050年カーボンニュートラル実現に向けた施策の戦略的な展開(「うちエコ診断」の実施体制の強化、県有施設への次世代型太陽電池の導入) など

DXによる安全・安心で暮らしやすいとちぎづくり

- 市町の窓口DXの取組に対する伴走支援、指定難病等の医療費助成に関する手続における電子申請システムの導入
- 「県版空き家バンク」の開設、三次元点群データの活用(視覚的でわかりやすい災害リスク情報の発信、オープンデータ化による民間部門の生産性向上)
- 孤立可能性集落における非常時の救助・避難手段を確保する取組への助成、地震被害想定調査の実施
- 地域医療構想等を踏まえた県立病院のあり方の検討
- カスタマーハラスメント防止条例の制定に向けた有識者会議の設置 など

II 「とちぎ未来創造プラン」及び「とちぎ創生15戦略^{いちご}(第2期)」の総仕上げ

とちぎ未来創造プラン
(2021～2025)

とちぎの目指すべき将来像「人が育ち、地域が活きる 未来に誇れる元気な“とちぎ”」の実現に向け、今後5年間に県が行う仕事の進め方等を示す県政の基本方針

とちぎ創生^{いちご}15戦略(第2期)
(2020～2025)

人口減少問題を克服し、将来にわたり地域の活力を維持していくため策定した栃木県版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

人材育成戦略

- 第三期県立高等学校再編計画に基づく施設整備、県立夜間中学の開校準備
- PFIの導入を前提とした「文化と知」の創造拠点の整備に係る手続の計画的な推進
- 企業版ふるさと納税による寄附金を活用した栃木県グリーンスタジアムの改修 など

産業成長戦略

- 半導体や蓄電池などの特定重要物資等に関連する研究開発や生産設備の導入を行う中小企業等に対する助成
- いちご主産県と連携した消費喚起イベントの開催、宿泊施設等と連携した県産牛肉の消費拡大プロモーションに対する助成
- 県産木材の更なる需要創出を図るための海外販路開拓に向けた市場調査の実施
- インバウンド拡大等を図るための大阪・関西万博への出展、万博における本県への誘客プロモーションの実施 など

健康長寿・共生戦略

- こども食堂等を利用する児童やその保護者を対象とした歯科保健指導等の実施
- 介護現場の生産性向上に向けた介護テクノロジーの導入等に関するワンストップ相談窓口の設置 など

安全・安心戦略

- 民間住宅の耐震改修に対する助成(補助上限額の引上げ:国・県・市町合わせて最大115万円を助成)
- 大田原警察署の移転整備に向けた設計委託等の実施 など

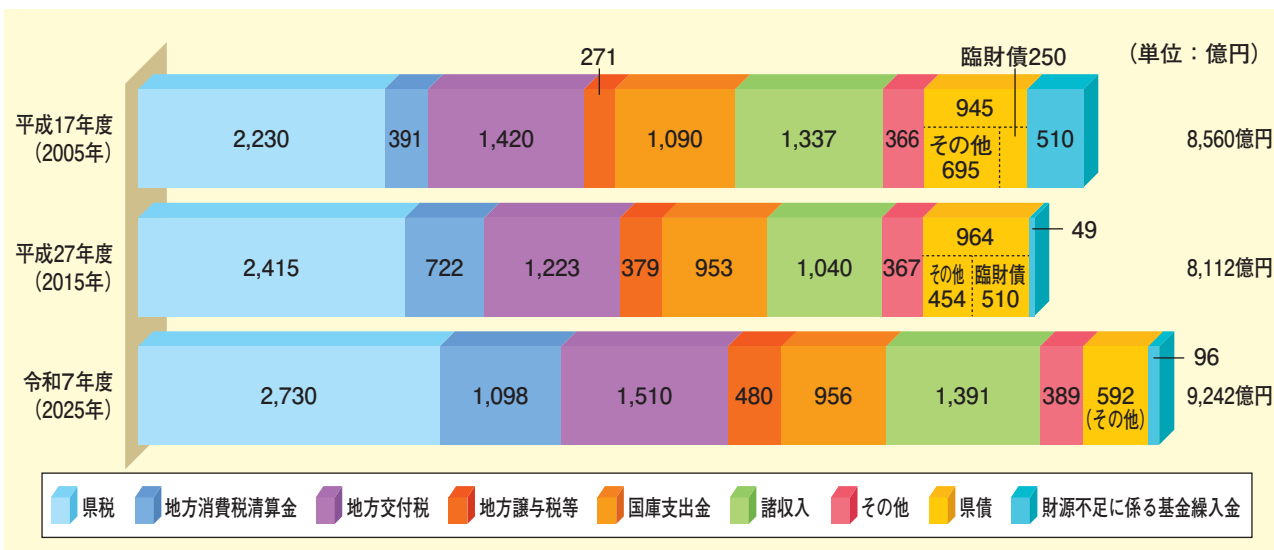
地域・環境戦略

- 令和7(2025)年に植樹開始から400年の節目を迎えた日光杉並木街道の記念イベントの開催
- クマ対策の強化(市街地等での出没を想定した訓練の実施、市町によるパトロールやわな設置の取組に対する助成) など

2 令和7(2025)年度予算の内訳(過去の予算と比べてみると)

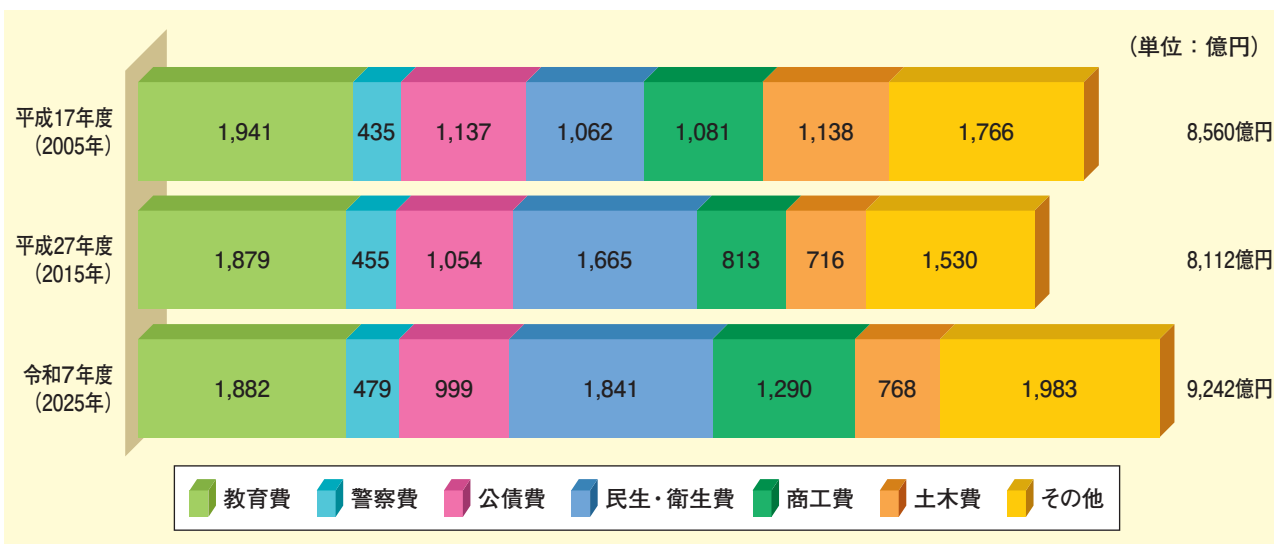
歳入

- 県税（）及び地方消費税清算金（）は、地方消費税率の引上げ等により増加しています。
- 令和7(2025)年度の県債（）は、臨時財政対策債（臨財債）が平成13(2001)年度の制度創設以来、初めて計上されないこととなった一方、臨財債を除く県債は、投資的経費の拡大に伴い、平成27(2015)年度に比べると増加しています。
- 財源不足に係る基金繰入金（）は、平成29(2017)年度以降は100億円前後で推移しており、今後増加していくことが見込まれています。



歳出

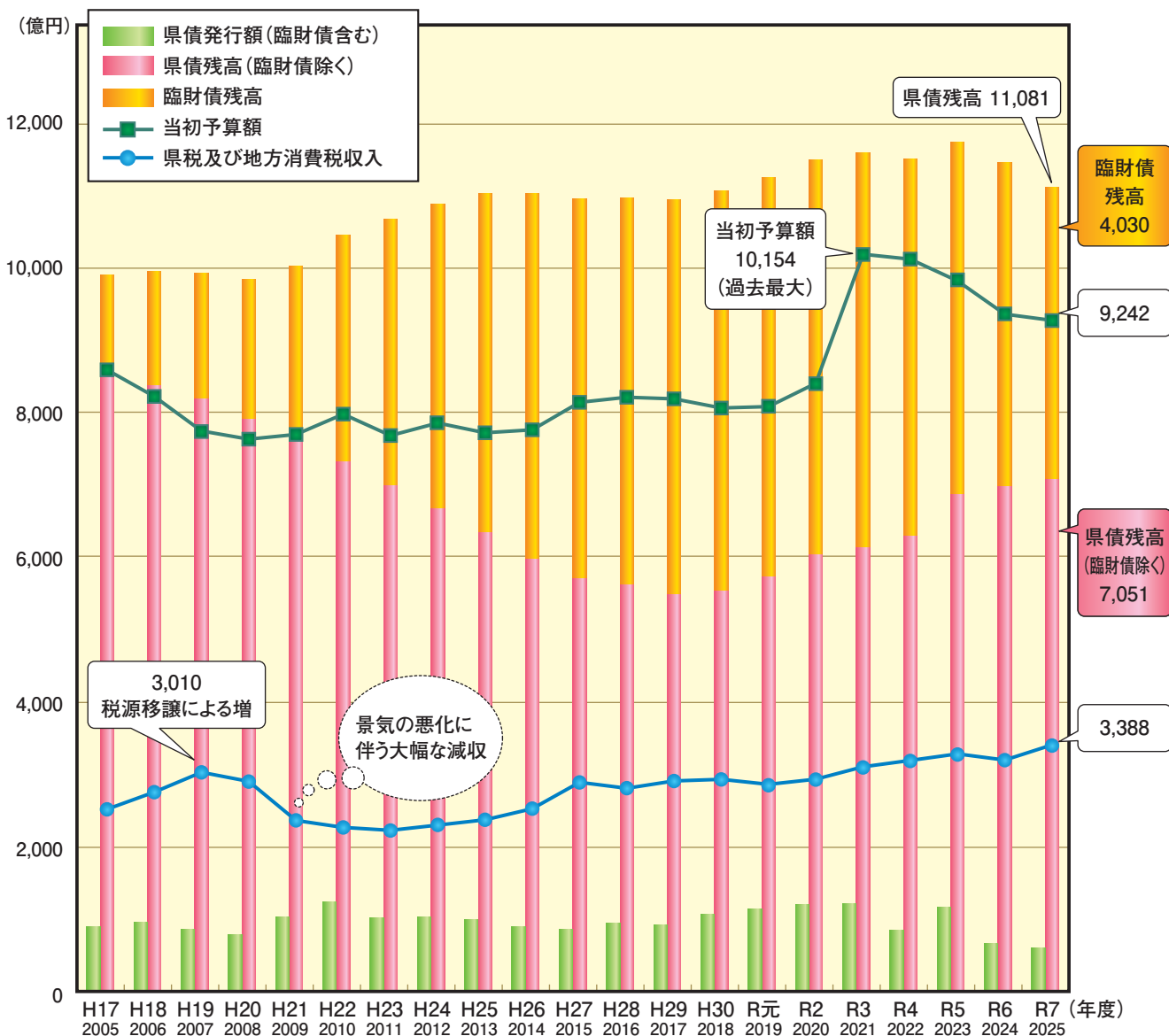
- 高齢化の進行等に伴い、福祉・医療の経費（ 民生・衛生費）が平成17(2005)年度の約2倍と大きな負担となっており、今後もこの傾向が続くものと見込まれます。
- 公共施設の建設費（ 土木費）は、平成17(2005)年度に比べて約7割になっており、大きく減少していますが、平成27(2015)年度に比べると増加しています。
- 物価高騰の影響を受けた企業等の資金繰り支援のため、貸付金（ 商工費）が増加しています。
- 過去の借金に対する返済経費（ 公債費）は、年間約1,000億円となっており、大きな負担となっています。また、この返済経費は、今後増加していくことが見込まれています。



3 栃木県財政の推移（過去20年間をしてみると）

- 令和7（2025）年度の予算規模（当初予算額 ■—■ ）は、新型コロナウイルス感染症への対応経費の減などにより、令和6（2024）年度当初予算に対して、86億円の減となり、当初予算としては4年連続の減となりました。
- 県税及び地方消費税収入※（●—● ）は、平成24（2012）年度以降、企業収益の回復や地方消費税率引上げ等により増加傾向となっており、令和7（2025）年度は、過去最大の3,388億円の予算を計上しています。
- 臨時財政対策債（臨財債）を除く県債残高は、平成14（2002）年度に過去最大の9,472億円に達した以降減少していましたが、総合スポーツゾーン等の大規模建設事業などの実施により、平成30（2018）年度に増加に転じ、さらに河川の災害復旧や国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」への対応により増加傾向となり、令和7（2025）年度末の見込額は7,051億円となっています。また、臨財債の残高も令和4（2022）年度から減少していますが依然として高水準であり、令和7（2025）年度末の県債残高全体の見込額は1兆1,081億円となっています。

※県税及び地方消費税収入・・・県税と都道府県間清算後の地方消費税清算金の合計



※県債残高、県債発行額、県税及び地方消費税収入については、令和5（2023）年度までは決算額、令和6（2024）年度は2月補正後、令和7（2025）年度は当初予算額です。

※臨財債とは国から地方公共団体に配分する地方交付税が足りないため、その不足する金額の一部を、いったん地方公共団体が借り入れをしてまかなう県債のことです。なお、返済する際の財源は、全額、地方交付税等で補てんされることとなっています。

三位一体の改革
(2003～2006)

とちぎ未来開拓
プログラム
(2009～2012)

財政健全化
取組方針
(2013～2015)

とちぎ行革
プラン2016
(2016～2020)

とちぎ行革
プラン2021
(2021～2025)

4 今後の財政収支見込み

○令和11(2029)年度までの間に、単年度で90億円台から100億円台の財源不足が見込まれており、それに伴い財政調整的基金残高は減少していく見込みです。

中期財政収支見込みについて

概 要

- ・令和7(2025)年度当初予算や国の地方財政計画等を踏まえ、いくつかの前提条件を設定し中期的な収支見込みを試算しました。
- ・今後の経済情勢の変化や国の予算編成の動向等により、試算した数値は大きく変動することがあります。

試算の考え方

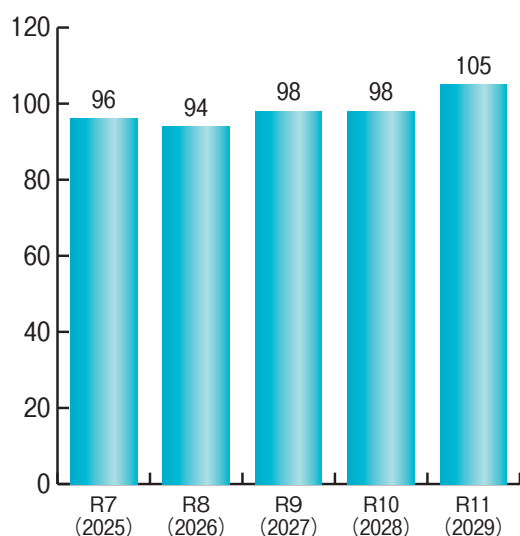
- ・職員費は一般職員、教員の増減等を、退職手当は定年の段階的引上げに伴う影響額を反映しています。
- ・投資的経費には、公共事業のほか、公共施設の長寿化経費などを見込んでいます。
- ・公債費は今後の発行額を、医療福祉関係経費は高齢化の進行等を見込んで試算しています。
- ・県税や地方消費税精算金は、内閣府の「中長期の経済財政に関する試算」(R7.1.17)を基に試算しています。

(単位：億円)

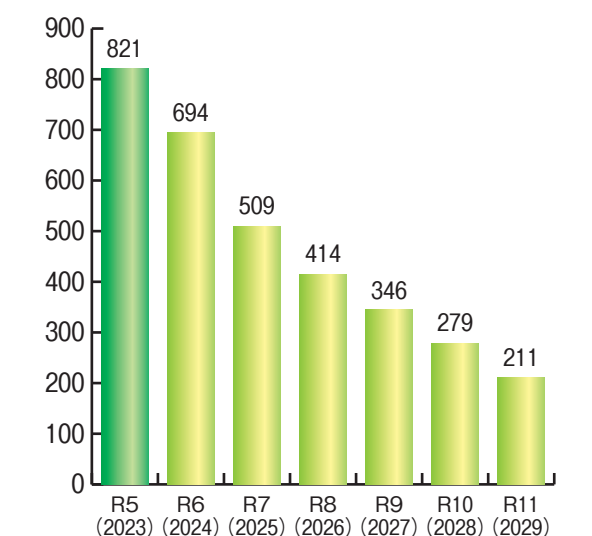
区 分	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)
歳出合計（一般財源）※ A	6,166	6,134	6,142	6,152	6,196
歳入合計（一般財源）※ B	6,070	6,040	6,044	6,054	6,091
財源不足額（収支差）C = B - A	▲96	▲94	▲98	▲98	▲105
基金充当額	96	94	98	98	105
年度末財政調整的基金残高見込み	509	414	346	279	211
年度末県債残高見込み	11,081	10,751	10,455	10,155	9,884
臨財債以外	7,051	7,143	7,259	7,358	7,471

※歳出合計（一般財源）及び歳入合計（一般財源）については、地方消費税清算金を他都道府県と清算した後の数値で試算しています。

(億円) 財源不足額の推移



(億円) 財政調整的基金残高の推移



※令和5(2023)年度は決算額、令和6(2024)年度は2月補正後の額です。

5 財政健全化への取組

- 中期財政収支見込みにおいては、高齢化の進行等による医療福祉関係経費等の増加などにより今後も財源不足が見込まれています。
- 引き続き、財政健全化に取り組み、持続可能な財政基盤を確立していく必要があります。

○「とちぎ行革プラン2021」における主な取組項目

1 財政の健全性の確保

- 中期的な視点に立った財政運営
歳入規模に見合った歳出構造への転換を進め財政調整基金の涵養を図るほか、適切な県債発行に努めます。
- 歳入確保に向けた取組の推進
滞納の未然防止や債権回収の強化、広告収入の増大等により、歳入の確保に努めます。
- 徹底した歳出の見直し
選択と集中による事務事業の見直しに取り組むとともに、補助金等の必要な見直しに努めます。

2 公共施設等の適正管理と総合的な利活用

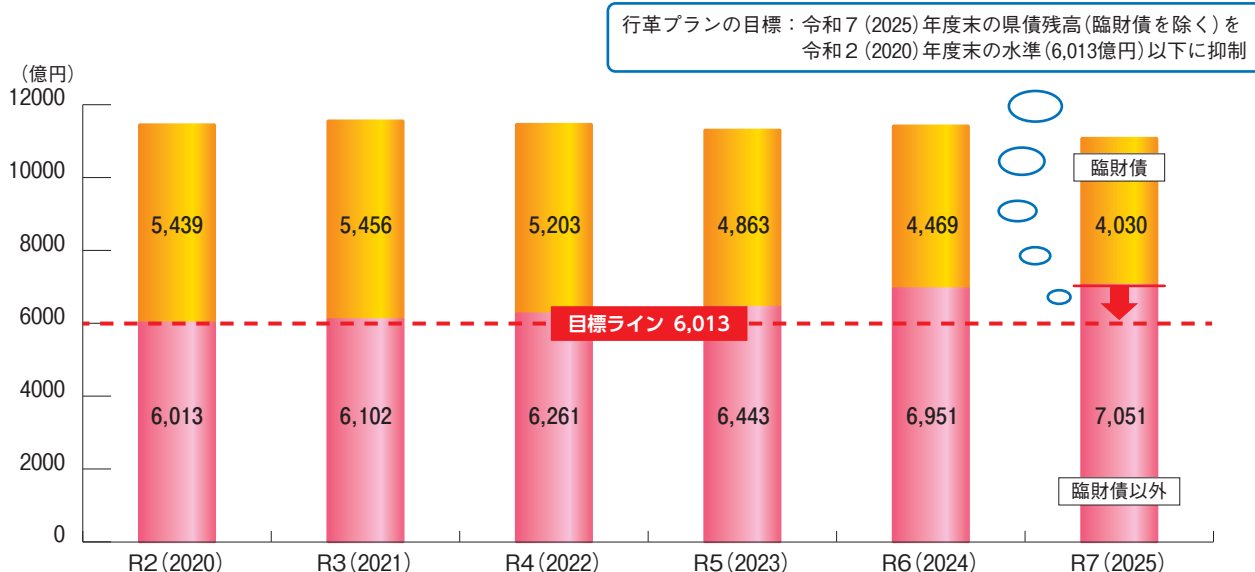
- 公共施設等の利活用の推進・最適化
公共施設等について、総合的・計画的な管理を行うとともに、効率的な利活用や未利用財産の売却等を推進します。
- 県有建築物の長寿命化の推進
県有建築物について、適切に点検・診断を実施し維持管理することにより、長寿命化を推進します。
- 使用料等のあり方を見直し
県有財産の使用料等について、社会経済情勢の変化等を踏まえたあり方を検証し、適正化を図ります。

3 公営企業等の自立的経営

- 公営企業の効率的な経営
企業局経営戦略に基づき、人口減少や更新投資の増大による影響等を見据えて、経営改善に取り組みます。
- 病院事業経営の健全化
病院事業について、経営改革プラン等に基づき自立的な経営に向けた改善に取り組みます。
- 県出資法人等の自立的な経営
出資法人等に対し、経営の適正化や業務の活性化等に向けて、必要かつ適切な指導等を行います。

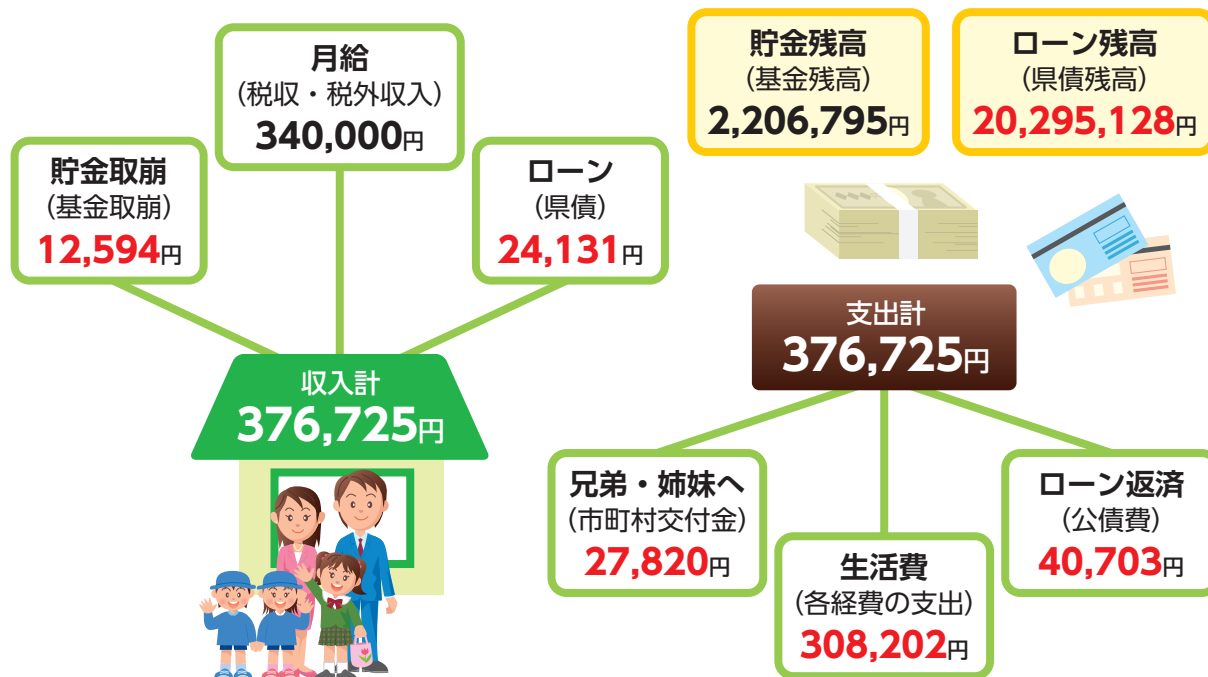
【県債残高の推計】

- 「とちぎ行革プラン2021」では、適切な県債の発行及び将来負担の抑制を取組内容の一つにしています。公共施設等の長寿命化対策などの大規模建設事業の実施等により、引き続き、臨時財政対策債以外の県債発行額が高止まりすることが見込まれますが、県有施設整備基金の有効活用等により、県債残高の抑制を図るとともに、財政措置のある有利な地方債を活用し、将来負担の軽減に努めます。



※令和5（2023）年度以前は決算、令和6（2024）年度は2月補正後、令和7（2025）年度は当初予算時点での残高です。
なお、今後の経済環境の変化や災害の発生状況等によって、試算した数値は大きく変動することがあります。

栃木県の財政を月給34万円のサラリーマン世帯に例えると (令和7(2025)年度)



みんなの“未来”を育てるサイト。

「とこぽ」は、妊娠から出産、子育てに関する情報を一元化した
子育て支援ポータルサイトです。
サイト機能や掲載情報を充実・強化して、県内外の皆さまへ
栃木県での子育ての魅力を発信していきます。



本物の 出会い 栃木



花々が作る夢の世界、
自然に優しく抱かれる空間、
心やすらぐ温泉、
絢爛豪華な文化遺産、
一年中食べられる苺
本物との出会いを求めて、
さあ栃木へ

栃木県公式観光ホームページ

ふるさと“とちぎ”への応援(寄附)を募集しています!!

みなさまからのご寄附は、スポーツの活用による地域活性化、プロスポーツ
支援、文化の振興、輝く人づくり、交通安全、福祉の向上、医療の充実、森づ
くり、学生の応援や日光杉並木街道保護など、ふるさと“とちぎ”づくりのため
に幅広く活用させていただきます。

○クレジットカードでも寄附金を納付することができます。

○ふるさと納税として、所得税、個人住民税の控除の対象になります。



◎お問い合わせ先 総合政策部 地域振興課
TEL 028-623-2233

栃木県 宝くじ情報

みなさん
宝くじは栃木県内で
買ってね。



県内で発売された宝くじの
収益金は、皆さんの身近な暮
らしに役立っています。

◎お問い合わせ先 財政課
TEL 028-623-2017

栃木県経営管理部財政課

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20
TEL 028-623-2017
URL <https://www.pref.tochigi.lg.jp>
E-mail zaisei@pref.tochigi.lg.jp